

### Ⅲ 授業実践について

## 特別支援学級 国語科学習指導案

なかよし学級 6名

指導者 T1 松田 嘉美

T2 山本 美香子

### 1 単元名 なかよしの野菜ショップを開こう

### 2 本時の活動

#### (1) 目 標 ①活動目標

お客さんに分かりやすいちらしを考えよう。

#### ②指導目標

相手意識をもって書く内容を考え、よりよいちらし作りにいかすことができるようになる。

#### (2) 展 開

学習活動	主な指導・支援	具体的評価規準
<p>1 これまでの学習をふり返し、本時の学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お客さんに分かりやすいちらしにするには、どんなことを書けばよいのだろう。</p> </div> <p>2 販売活動に向けて、ちらしに書く事柄を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>店名・日時・場所・値段 野菜の種類・紹介 新鮮さが伝わる言葉 お得感が伝わる言葉 来店をお願する言葉 生産者の紹介・イラスト・写真 キャッチコピー 等</p> </div> <p>3 キャッチコピーを考える。</p> <p>4 考えたキャッチコピーを発表する。</p> <p>5 本時の学習をふり返し、次時の学習への見通しをもつ。</p>	<p>1 学習計画表を提示して前時までの学習をふり返し、本時の学習問題をつかむことができるようにする。 前時までの活動の様子を撮影しておき、その画像を提示して、これまでの学習を想起することができるようにする。</p> <p>2 お客さんにとって必要な情報を漏れなく分かりやすくちらしに書くために、書く事柄を整理することができるようにする。 考えの参考にするように、ちらしの例を用意しておく。 発表するときは理由や根拠を挙げながら話すことを確認しておく。</p> <p>3 ちらしを見たお客さんの心を惹きつけるキャッチコピーを考えることができるようにする。 考えの参考にするように、キャッチコピーの例や書き方の手引きを用意しておく。 考えたキャッチコピーは短冊に書き、黒板に掲示するようにする。</p> <p>4 短冊を提示しながら、キャッチコピーを互いに発表し合うことができるようにする。</p> <p>5 学習計画表で次時の学習を確認し、見通しをもつことができるようにする。</p>	<p>○相手意識をもって、ちらしに書く事柄を考えている。 (発言・態度)</p> <p>○相手意識をもって、キャッチコピーを考え、短冊に書いている。 (発言・手引き・短冊)</p>

(3) 個別の目標

児 童	目 標
5年 AS MR	○相手意識をもって、例や友達の見解を参考にしながら、ちらしに書く事柄を考えて発表することができる。 ○自分の考えを短い言葉にまとめ、語感を意識してキャッチコピーを考えることができる。
6年 SS 5年 EY FK SI	○相手意識をもって、例や友達の見解を参考にしながら、ちらしに書く事柄を考えることができる。 ○伝えたいことを一文で表してキャッチコピーを考えることができる。

(4) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	相手意識をもってちらしに書く事柄やキャッチコピーを考え、発言したり書いたりしている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	ちらしやキャッチコピーの例を示したり、手引きを用意したりして、自分の考えをもつきっかけにすることができるようにする。